

平成27年度 同好会事業報告

理科同好会 世話係名 奥 幸雄 会長名 北澤 佳一

月 日	実施した事業内容	参加人員
8月4日	夏期講習会（上級CST養成プログラム）	5人
8月6日	上級CSTによるサイエンス・ミーティング	7人
2月中	実験講習会（予定）	

理科同好会は、五月一日（金）に会員二十一名で発足しました。

今年度の夏期講習会も、昨年度と同じく、上級コア・サイエンス・ティーチャー養成プログラムと連携して開催することができました。

八月四日（火）に、信州大学教育学部教授三崎隆先生を講師に迎え、「ノート指導・理科室の掲示物・小学校で使う主な薬品の性質と理科準備室の整理整頓」の講義を行っていただきました。ノート指導については、理科のノートづくりの意義を教えてくださいました。①理科ノートは、言語活動の充実を図るツールとなる。②理科ノートを通して、子どもの考えを外化された言葉や絵として把握できる。③理科ノートにおいて、子どもの学習方略を具現化することができる。④理科ノートを通して、子どもを評価（形成的アセスメント）し、子どもの考えを修正することができる。これらの意義を意識しながら、日々のノート指導を行うことが大切であると学ぶことができました。理科室の掲示物や理科準備室の整理整頓では、各校の実践や工夫も紹介していただきました。すぐに実行したいアイデアばかりでした。いずれも今後にかせるヒントをたくさんいただいた講義でありました。

八月六日（木）は、上級コア・サイエンス・ティーチャーである、千曲市立東小学校の西澤雄司先生を講師に迎え、「タブレット端末を使った理科学習」をテーマとして、実際にタブレット端末を操作しながら、タブレット端末を利用した実践事例を教えてくださいました。授業の中でタブレット端末を使う有用性や今後の可能性を実感することができました。

上級コア・サイエンス・ティーチャー養成プログラムやサイエンス・ミーティングで学んだことをいかして、これからも理科の楽しさや自然の奥深さを子どもたちに伝えていきたいと思えます。参加していただいた方々に感謝申し上げます。ありがとうございました。

(会長 高山中学校 北澤佳一)